

様式第 6（第12条関係）

令和 5 年度原子力発電施設立地地域共生交付金事業評価報告書

資 エ ネ 第 400 号
令和 6 年（2024 年）6 月 14 日

経済産業大臣 齋 藤 健 殿

北海道札幌市中央区北 3 条西 6 丁目
北海道知事 鈴 木 直 道

令和 5 年 4 月 26 日付け 20230404 財資第 41 号をもって交付の決定の通知を受けた原子力発電施設立地地域共生交付金事業にかかる交付金事業の成果の評価については、原子力発電施設立地地域共生交付金交付規則第 1 2 条第 3 項の規定により別紙のとおり報告します。

- （注）（1）別紙は次の事業評価総括表及び事業評価個表の様式によること。
（2）用紙の大きさは、日本産業規格に定める A 4 とし、横位置とすること。

I．事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備及び維持 補修措置	道道古平神恵内線道路局部改良事業	北海道	68,035,000	58,000,000	
2	地域活性化措置	岩宇まちづくり連携支援事業	北海道	9,004,000	9,004,000	
3	地域活性化措置	豊かな海の森づくりモデル事業	北海道	1,707,860	1,707,860	
4	公共用施設に係る整備及び維持 補修措置	岩内町道整備事業	岩内町	36,023,000	36,023,000	
5	地域活性化措置	都市公園（含翠園）改修事業	岩内町	18,120,000	18,120,000	

Ⅱ. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名		交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備及び維持補修措置		道道古平神恵内線道路局部改良事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			北海道				
交付金事業実施場所			岩内町				
交付金事業の概要			本路線は災害等の緊急時に地域住民の円滑な避難に資する重要な道路となっています。避難経路に指定されている本路線には約0.3kmの急勾配区間があり、積雪期の安全な交通の確保のためにロードヒーティングが設置されていますが、分電盤筐体の腐食など施設の老朽化が進んでおり、漏電や機能低下を防ぐことが必要です。そのため、ロードヒーティング施設について、筐体の更新及び内部機器の補修を実施します。				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標			「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度） 1 生活・安心 （7）強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮 ■大規模自然災害に対する北海道自ら脆弱性の克服 火山噴火や土砂災害、大規模地震、津波、洪水などの各種災害に対応したハザードマップや避難計画の策定、指定緊急避難場所や指定避難場所の指定、防災訓練の実施などの取組を促進するほか、道路施設をはじめ治水・砂防・海岸保全など防災上重要な公共施設の整備や適切な維持管理を推進します。 当事業の実施により、道路施設（照明、側溝、ガードケーブル）の機能低下に伴う利用者被害や交通規制の発生を回避・抑制することが可能となり、地域住民の安全・安心に寄与します。 管内の延長14.6kmのうち、走行環境が改善された割合 96％（令和5年度） ※基準値 91％（令和3年度） 管内のシェルター照明のLED化率 64％（令和5年度） ※基準値 57％（令和3年度）				
事業開始年度			令和4年度	事業終了（予定）年度	令和5年度		
事業期間の設定理由			令和5年度までに施設の更新、補修を完了するため				
			成果目標	成果指標			
			走行環境が改善された割合 100％	走行環境が改善された割合	単位	評価年度	
					成果実績	％	100
					目標値	％	100
			達成度	％	100.0％		
			令和5年度				

交付金事業の成果目 標及び成果実績	評価年度の設定理由					
	事業完了時に成果が把握できるため令和5年度に評価					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	道路補修を実施し道路走行環境の改善を行い、安全な車両通行空間を確保することができました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指 標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	
	道路施設（照明、側 溝、ガードケーブル） の更新延長（km）	活動実績	km	0	0.797	
		活動見込	km	1.12	0.460	
		達成度	%	0.0%	173.3%	
交付金事業の総事業 費等	令和4年度	令和5年度			備 考	
総事業費	41,602,000	68,035,000				
交付金充当額	41,579,000	58,000,000				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	41,579,000	58,000,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
道路補修工事		制限付一般競争入札		株式会社富士電気 （岩内町）		68,035,000
交付金事業の担当課室		北海道建設部建設政策局維持管理防災課				
交付金事業の評価課室		北海道建設部建設政策局維持管理防災課				

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
2	地域活性化措置	岩宇まちづくり連携支援事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北海道
交付金事業実施場所		岩宇4か町村
交付金事業の概要	岩宇地域が発展するために観光に取り組むことは極めて重要であり、隣接するニセコエリアでは、近年、長期滞在型の外国人観光客が急増していることから、その外国人観光客を岩宇地域に呼び込むために、外国人を対象とした観光モニターツアーの実施、観光PR動画の作成、DMOの設立に向けた専門研修などに取り組み、地域の広域観光体制や外国人観光客の受け入れ体制を整えます。 また、長期滞在型の外国人を地域に受け入れるためには、外国人も日本人も分け隔てなくおもてなしをし、その地のファンになってもらえるような地域の素地が大切であることから、そういった対応ができるグローバル人材の育成が必要であり、異なる文化への寛容性や地域に誇りを持つきっかけを子どもの頃に与える取組をイングリッシュアドベンチャー事業として、岩宇地域の子どもを対象にニセコエリアに居住する外国人の子どもとともに、外国人インストラクターによる地域資源を活かした夏、冬のアクティビティを実施します。	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度）				
	2 経済・産業				
	(6) 多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進				
	■ 食や自然環境など豊富な資源を活かした滞在交流型の観光地づくり				
	○ 観光産業従事者の人材育成をはじめ、交通ネットワークの充実、Wi-Fi環境の整備、観光主要施設における多言語対応の強化、ムスリム対応など、外国人観光客が安心して快適に旅行できる受入体制の整備を促進します。				
	○ 観光振興に関する様々な取組を地域の状況に応じ効果的に進めるため、本道観光の中核的推進組織である北海道観光振興機構の機能拡充を図るとともに、観光地域づくりの舵取り役としての役割を担うDMOの形成・確立に向けた取組を促進するなど、官民一体となった取組を推進します。				
	■ 国内外への効果的な誘客活動による旅行市場の拡大				
	○ 旅行市場の更なる拡大が期待される、アジアをはじめとした国内外からの誘客を拡大するため、満足度の高い旅行商品の造成を促進します。また、四季折々の美しい自然や多彩な食、特有の生活文化など、本道の魅力を多様なメディアを活用し、戦略的に発信します。				
	3 人・地域				
	(2) 北海道の未来を拓く人材の育成				
■ グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成					
活力ある未来を拓くため、若者の留学支援や世界を舞台に活躍できる人材の育成、既成概念にとられないアイデアで「新たな価値」を創出する人材の発掘・育成を推進します。					
当事業の実施により、岩宇地域の観光資源を有機的に結びつけ、効果的に発信することで、岩宇エリアにニセコエリアのインバウンドの誘客促進をはじめとする観光入込全体の底上げが図ることで、地域の産業の柱の一つとして観光の振興を進めます。					
また、イングリッシュアドベンチャー事業では、多文化交流・体験の実証を行い、培ったノウハウを地域に還元することで岩宇地域の効果的な人材育成に役立てる。					
・岩宇4か町村の外国人宿泊客延数 900人（令和6年度） ※基準値 356人（平成29年度）					
・岩宇4か町村の観光入込客数 116万人（令和6年度） ※基準値 93万7千人（平成29年度）					
・イングリッシュアドベンチャー事業のノウハウを地域に還元し、当該取組終了後は岩宇地域で取組が継続されます。（令和6年度）					
事業開始年度	令和元年度		事業終了（予定）年度		令和5年度
事業期間の設定理由	令和5年度までに当該支援事業を完了するため				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度
	岩宇4か町村外国人宿泊延数 900人	岩宇4か町村外国人宿泊延数	成果実績	人	
			目標値	人	900
			達成度	%	
	成果目標	成果指標		単位	評価年度
	岩宇4か町村観光入込客数 116万人	岩宇4か町村観光入込客数	成果実績	万人	
			目標値	万人	116
			達成度	%	

	評価年度の設定理由					
	事業完了後に成果が把握できるため令和6年度に評価					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	成果目標：イングリッシュアドベンチャー事業のノウハウを地域に還元し、当該取組終了後は岩宇地域で取組が継続されます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	イングリッシュアドベンチャー参加人数	活動実績	人	0	30	38
		活動見込	人	60	60	60
		達成度	%	0.0%	50.0%	63.3%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度		令和5年度		備 考
総事業費	3,405,560	9,027,166		9,004,000		
交付金充当額	3,405,560	9,027,166		9,004,000		
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	3,405,560	9,027,166		9,004,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
委託業務（岩宇まちづくり連携支援事業）		総合評価一般競争入札		株式会社JTB（東京都品川区）		4,400,000
旅費		－		道職員ほか		12,000
委託業務（イングリッシュアドベンチャー事業）		随意契約		株式会社 IWANAI UNITED（岩内町）		4,592,000
交付金事業の担当課室	北海道後志総合振興局産業振興部商工労働観光課 北海道後志総合振興局地域創生部地域政策課					
交付金事業の評価課室	北海道後志総合振興局産業振興部商工労働観光課 北海道後志総合振興局地域創生部地域政策課					

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	地域活性化措置	豊かな海の森づくりモデル事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北海道				
交付金事業実施場所		神恵内村				
交付金事業の概要	地域を支える産業の一つである漁業は、漁業者の減少・高齢化など非常に厳しい状況にあり、漁業の経営安定に向けた取組が必要となっています。また、コンブ等の海藻で形成される藻場は、魚類の生育場所やウニの飼料として重要な役割を果たしていますが、海藻が生えなくなる磯焼けが進行しており、それに伴うようにウニの漁獲量が減少しており、藻場の回復が必要となっていることから、適切な漁場管理と藻場造成のモデルを確立し、藻場再生を地域に普及させます。					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度） 2 経済・産業 (1) 農林水産業の持続的な成長 ■水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり 水産資源の回復・増大や水域環境の保全を図るため、適切な資源管理や海域の特性に応じた栽培漁業を推進するとともに、密漁取締体制の強化やトドなどの海獣による漁業被害対策を進めます。また、日本海地域において、増養殖を柱とした新たな生産体制づくりを進めます。 当事業の実施により、適切な漁場管理と藻場造成のモデル手法が確立され、地域に普及することでウニの漁獲量の増加に寄与します。適切な漁場管理の藻場造成のモデル手法を確立し、神恵内村及び古宇郡漁業協同組合へその技術を移転します。 成果指標：ウニの漁獲数量 数量：3,647 kg(令和6年度)					
事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和5年度			
事業期間の設定理由	令和5年度までにモデル手法を確立するため					
	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和6年度
	ウニの漁獲数量 3,647 kg	ウニの漁獲数量 (kg)	成果実績	kg		
			目標値	kg	3,647	
			達成度	%		

交付金事業の成果目標及び成果実績	評価年度の設定理由					
	事業完了後に成果が把握できるため令和6年度に評価					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、コンブ胞子体付着基質の散布、コンブ遊走子付着基質の設置及びモニタリング調査等を実施することにより、事業効果に係る情報を収集することができました。引き続き、事業効果に係る情報収集に努め、適切な漁場管理と藻場造成のモデル手法を確立し、技術移転を図って参りたいです。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	造成漁場面積（ha）	活動実績	ha	0.2	0.2	0.2
		活動見込	ha	0.2	0.2	0.2
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度		備 考	
総事業費	1,682,780	1,704,340	1,707,860			
交付金充当額	1,682,780	1,704,340	1,707,860			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	1,682,780	1,704,340	1,707,860			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
役務費 潜水業務（適切な漁場管理）		随意契約		(株) エコニクス（札幌市）		273,900
使用料 船舶借上（適切な漁場管理）		随意契約		柴崎政弘（神恵内村）		53,900
役務費 潜水業務（効果的な藻場造成）		随意契約		(株) 海洋探査（小樽市）		407,000
需用費 藻場造成資材購入		随意契約		(株) 海洋探査（小樽市）		94,160
使用料 船舶借上（効果的な藻場造成）		随意契約		柴崎政弘（神恵内村）		53,900
委託料 モニタリング調査		随意契約		(株) エコニクス（札幌市）		825,000
交付金事業の担当課室	北海道後志総合振興局		産業振興部水産課			
交付金事業の評価課室	北海道後志総合振興局		産業振興部水産課			

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
4	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	岩内町道整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岩内町
交付金事業実施場所		岩内町高台ほか7件
交付金事業の概要	岩内町地域防災計画において津波避難対象地域の住民が避難所に安全に避難するための津波災害避難路に位置づけられている町道八幡南岩内川通りなどの7路線においては、道路の路盤構成が脆弱であるため、融雪期には亀甲状クラック、轍掘れ、ポットホールが発生するなど安全な交通に支障が生じています。また、町道薄田通りは歩道が未整備であることから、災害時に安全に避難できない状況にあります。そのため、舗装の補修及び舗装の新設を行うとともに、歩道を新設します。当事業の実施により、安全な交通環境を確保するとともに、災害時にも安全に避難できる道路環境を整備することで、地域住民の安全・安心に寄与します。 【事業内容】 ・舗装補修 （平成31（令和元）年度～3年度） 光照寺横通り舗装補修 延長L= 90m、幅W=7.5m （令和4年度） 岩内川第二東通り舗装補修 延長L=114m、幅W=7.5m （令和2年度～4年度） 八幡南岩内川通り舗装補修 延長L=313m、幅W=7.5m （令和3年度～5年度） 岩内川壁坂通り舗装補修 延長L=248m、幅W=7.5m （令和4年度） 山崎宮園通り舗装補修 延長L=475m、幅W=7.0m （令和5年度） 111号線舗装補修 延長L= 47m、幅W=7.5m （令和5年度） 岩内幌似街道舗装補修 延長L= 70m、幅W=7.5m （令和5年度） 芦田山手通り舗装補修 延長L= 28m、幅W=7.5m ・舗装新設 （平成31（令和元）年度） 高台3号線舗装新設 延長L= 65m、幅W=7.2m ・歩道新設 （平成31（令和元）年度） 薄田通り歩道新設 延長L=189m、幅W=9.4m （車道6.9m、歩道2.5m）	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【主要政策・施策】 「岩内町過疎地域持続的発展市町村計画」（令和3年度～令和7年度） 3. 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進 （1）現況と問題点（道路） ・ 国道229号以南の町道は、車道部分のみ防じん舗装で歩道部分は未整備の区間が多く残されていることから、今後においては、防じん舗装の修繕や簡易舗装及び高級舗装の必要性・緊急性を総合的に判断した中で、計画的な整備が必要となっています。 また、令和3年度からの「岩内町過疎地域持続的発展市町村計画」においても道路整備に関する施策として登載予定です。					
	【目標】 津波災害避難路の当該路線において、舗装、舗装改修及び歩道新設が必要な延長（1.715km）のうち、走行・歩行環境が改善された割合 76%（令和5年度） ※基準値 0%（平成30年度）					
事業開始年度	令和元年度		事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由	完成までに5年間に要するため。					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度
	走行・歩行環境が改善された割合 76%	走行・歩行環境が改善された割合	成果実績	%	76	
			目標値	%	76	
			達成度	%	100.0%	
	評価年度の設定理由					
	事業終了時の整備割合を評価するため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金を活用し、岩内町道整備事業を実施することで安全な交通環境を確保するとともに、災害時にも安全に避難できる道路環境を整備することで、地域住民の安全・安心に寄与することができました。引き続き本交付金を活用しながら、交通環境及び道路環境を整備することで地域住民の福祉の向上を図ってまいります。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	町道整備の進捗延長 (m)	活動実績	m	316.3	755.0	365.0
		活動見込	m	316.3	755.0	365.0
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考		
総事業費	36,003,000	90,420,000	36,113,000			
交付金充当額	36,000,000	90,300,000	36,023,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	36,000,000	90,300,000	36,023,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額		
岩内川壁坂通り舗装補修工事		指名競争入札	道央舗道株式会社後志出張所（岩内町）	15,950,000		
111号線舗装補修工事		指名競争入札	三井住建道路株式会社北海道支店後志営業所（共和町）	7,623,000		
岩内幌似街道舗装補修工事		指名競争入札	三井住建道路株式会社北海道支店後志営業所（共和町）	8,424,000		
芦田山手通り舗装補修工事		指名競争入札	三井住建道路株式会社北海道支店後志営業所（共和町）	4,116,000		
交付金事業の担当課室	岩内町建設経済部建設課土木係					
交付金事業の評価課室	岩内町経営企画部企画財政課財政係					

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
5	地域活性化措置	都市公園（含翠園）改修事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岩内町	
交付金事業実施場所		岩内町	
交付金事業の概要		平成27年に都市公園として登録された含翠園は、明治33年に造園された極めて価値のある風致公園であり、地域住民の憩いの場や訪日外国人観光客と地域住民の交流の場となる可能性を秘めておりますが、老朽化が著しいことから施設の保全・整備として、塀の改修、雑木処理、池の整備、トイレ・休憩場の新設、附属建物の復元改修を行います。 当事業の実施により、含翠園本来の魅力を取り戻し、一層利用しやすくなることで、当町における寺院と神社を結ぶ「歴史ふれあいゾーン」の中間に位置する施設として、外国人を対象としたモニターツアーの実施など多くの人に利用されることで、地域の歴史を広く発信する観光資源の一つになるとともに、住民憩いの場としての役割を果たします。 【事業の内容】 含翠園（全体の面積：6,827.3㎡） 令和元年度 基本設計及び基本測量 令和2年度 詳細設計 令和3～5年度 塀の改修（外周柵、延長L=244m、高さH=1.2～1.8m） 令和3年度 雑木処理（処分本数N=383本） 令和3～4年度 池の整備（清掃面積S=1,008㎡、橋改修L=28m） 令和4～5年度 庭園整備 令和3～5年度 休憩場の新設（延べ床面積S=60㎡） 令和5年度 トイレの新設（延べ床面積S=38.25㎡） 令和5年度 建物（茶室）の復元改修及び展示施設の新設	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		「岩内町都市計画マスタープラン」（平成17年度～令和6年度） Ⅳ．全体構想 3．将来都市構造 （1）自然や歴史とのふれあいゾーンづくり ・ 寺社や各種遺跡及び庭園等の歴史的遺産の保全・活用を図るとともに、これらを連絡する「歴史の散歩道」の整備を図る。 当事業の実施により、含翠園本来の魅力を取り戻し、一層利用しやすくなることで、岩内町における寺院と神社を結ぶ「歴史ふれあいゾーン」の中間に位置する施設として、外国人を対象としたモニターツアーの実施など多くの人に利用されることで、地域の歴史を広く発信する観光資源の一つになるとともに、住民憩いの場としての役割を果たします。 含翠園の年間利用者数 5,300人（令和6年度） ※基準値 180人（平成29年度）	
事業開始年度		令和元年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由		令和5年度までに公園整備を完了するため	

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和6年度
	含翠園の年間利用者数	含翠園の年間利用者数 5,300人	成果実績	人				
			目標値	人	5,300			
			達成度	%	0.0%			
	評価年度の設定理由							
	整備後の利用者数への影響を調査し、評価へ反映させるため。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	令和6年度から施設利用を開始していることから、令和6年度末時点での利用者数を成果実績として報告します。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	改修（整備）面積（㎡）		活動実績	㎡	0	0	7,664	
			活動見込	㎡	0	0	7,664	
			達成度	%	0.0%	0.0%	100.0%	
交付金事業の総事業	令和3年度	令和4年度		令和5年度		備考		
総事業費	46,033,049	125,719,000		221,584,000				
交付金充当額	44,600,000	119,700,000		18,120,000				
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	44,600,000	119,700,000		18,120,000				

交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	含翠園改修外構工事	指名競争入札	(株)白戸工務店	23,518,000
	含翠園改修附属建物建設等（建築主体）工事	指名競争入札	(株)白戸工務店	97,251,000
	含翠園改修附属建物建設等（電気設備）工事	指名競争入札	(有)佐藤電機商会	11,484,000
	含翠園改修附属建物建設等（機械設備）工事	指名競争入札	(株)マルコー設備	24,200,000
	含翠園改修トイレ棟建設（建築主体）工事	指名競争入札	(株)白戸工務店	31,119,000
	含翠園改修四阿建設工事	指名競争入札	鈴木建設(株)	14,938,000
	含翠園附属建物解体工事	指名競争入札	(株)三田運輸	4,114,000
	含翠園工事監理業務	指名競争入札	北電総合設計(株)	11,000,000
	含翠園工事監督支援業務	指名競争入札	(一財)北海道建設技術センター	3,960,000
交付金事業の担当課室		岩内町建設経済部建設課土木係		
交付金事業の評価課室		岩内町経営企画部企画財政課財政係		